

第7次中期経営計画

未来を描き、夢をかなえる

2019年4月～2024年3月

SHIGA BANK

<https://www.shigagin.com/>

第6次中期経営計画の振り返り

KPIについて

6次中計挑戦指標	計画値	2016.3スタート値	2018.9実績	計画対比	達成
総預り資産（未残） <small>（総預金+投資信託+公共債+金融商品仲介）</small>	50,000億円	46,441億円	51,101億円	+1,101億円	○
総貸出金（未残）	35,000億円	32,675億円	37,273億円	+2,273億円	○
滋賀県内貸出金シェア（%） <small>（商工中金他一部の金融機関を除く）</small>	50%	47.32%	48.74%	▲1.26%	×
温室効果ガス排出量削減（%） <small>（2016年度から2018年度の3年間平均で2006年度比較30%削減）</small>	30%削減	35.09%削減	（※）33.54%削減	+3.54%削減	○

長期的挑戦指標	計画値	2016.3スタート値	2018.9実績	計画対比	達成
株主資本ROE	5%以上	6.98%	6.60%	+1.60%	○
OHR	65%未満	69.97%	74.25%	▲9.25%	×

（※）2018.3実績

戦略について

順調

①法人事業性手数料が新たな収益の柱に成長



②店舗施策が進み、従業員1人当たりの生産効率も上昇

店舗数の推移

店舗数	2016.3	2019.3見込	増減
支店	98	95	▲3
出張所	23	13	▲10
代理店	16	25	+9
合計	137	133	▲4

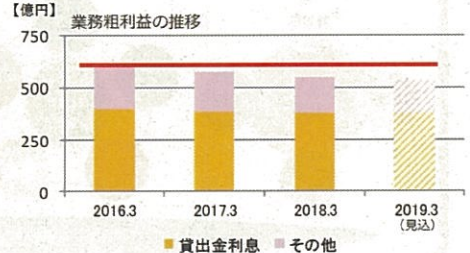
従業員1人当たり貸出金

	2016.3	2018.9	増減
貸出金残高	14.8	17.8	+3.0

【億円】

課題

過去最高水準で貸出金が増加しても、業務粗利益が中計初年度から低下



SHIGA BANK

当行のマテリアリティ（重要課題）

地域の課題



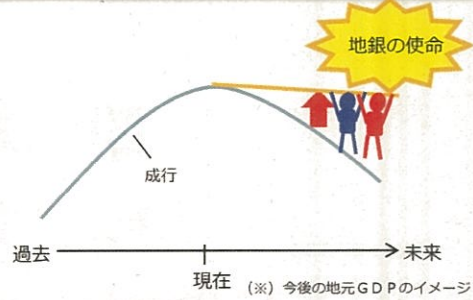
地域の悩みは、当行の課題
地域の課題に正面から向き合う

当行の課題

- 低金利の継続
- B/S拡大型ビジネスの転換期
- 競争激化
- 顧客ニーズの多様化
- FinTechの進展
- ライフサイクルの変化

地域の縮小角度を変える

社会的課題解決により地域に幸せをもたらす



- | | | |
|----|---------|--------|
| 地域 | 地域連携の強化 | 新事業を創出 |
| 法人 | 事業を承継する | 売上を増やす |
| 個人 | 資産をつなぐ | 資産を増やす |

重点項目（ターゲット2030）

- 地域経済の創造
 - 地球環境の持続性
 - 多様な人材の育成
-

サステナビリティビジョン（長期ビジョン）

<不変の精神>
行 是：「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」
CSR憲章：「地域社会」「役職員」「地球環境」との共存共栄

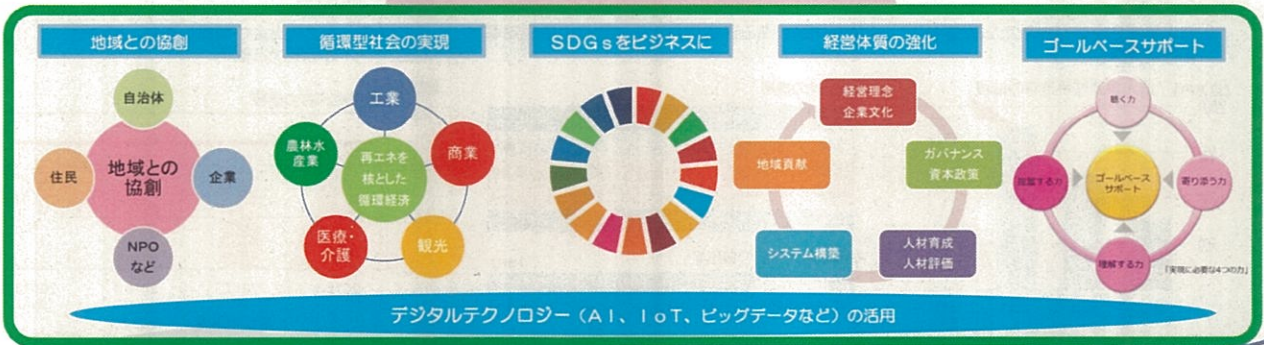
<目指すべき地域社会の姿>
自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会
～地域との共創による持続可能な社会の実現～

経済・環境・人をつなぐ（統合的発展）

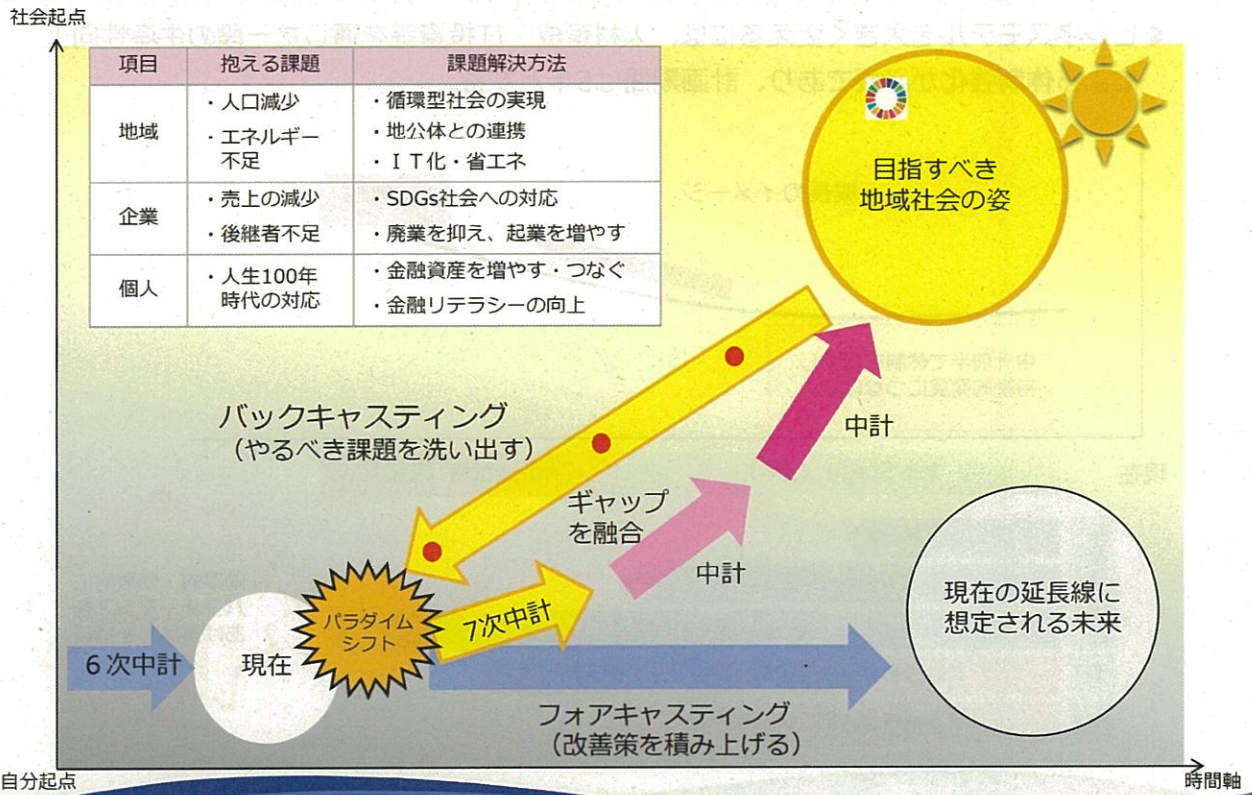
2030年のマイルストーン（ターゲット2030）

<地域経済の創造> Sustainable Development推進投資 新規投資総額 累計1兆円	<地球環境の持続性> 温室効果ガス排出量 30%以上削減 (2013年度比較)	<多様な人材の育成> SDGs・金融リテラシー の普及・向上活動、 次世代人材の育成活動 実施人数延べ1万人
--	--	--

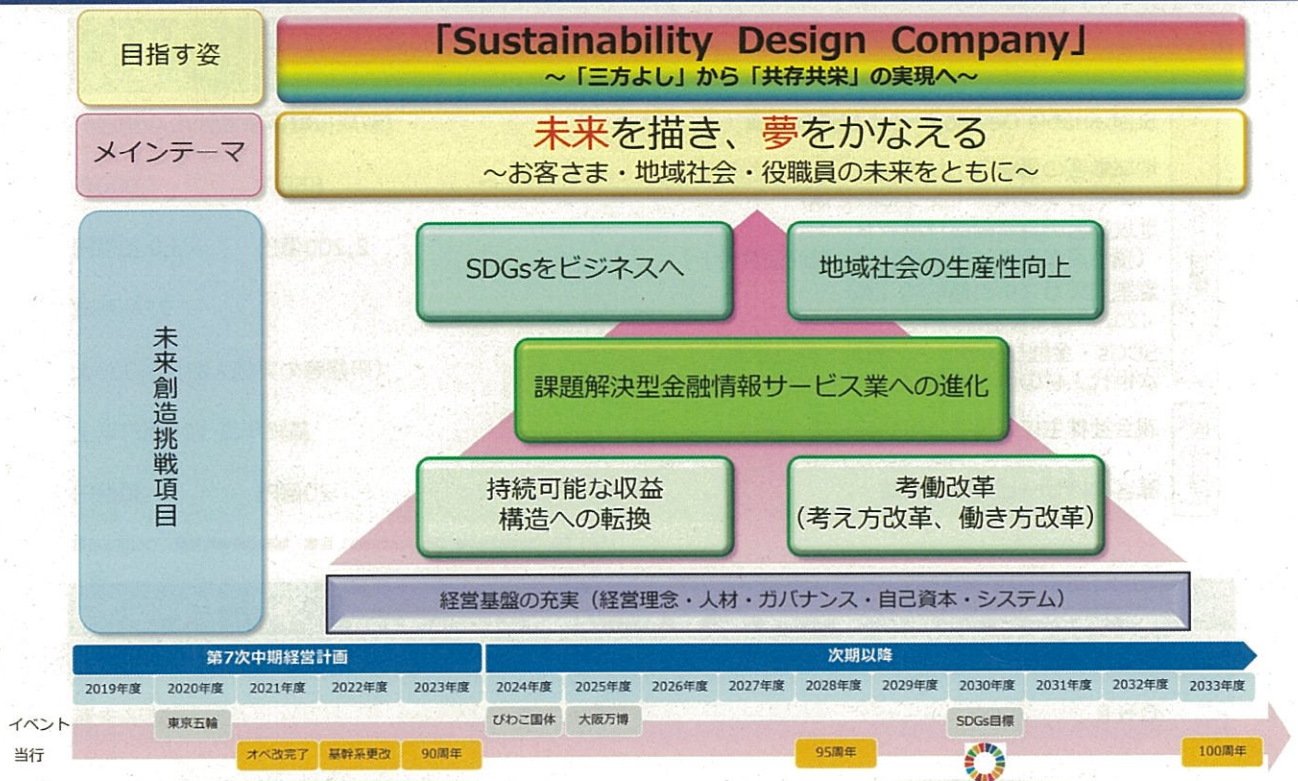
3つの挑戦指標を通じて経済的価値と社会的価値を創造し、両立することで
地域社会の発展に取り組んでまいります。



目指すべき姿と中期経営計画の関係

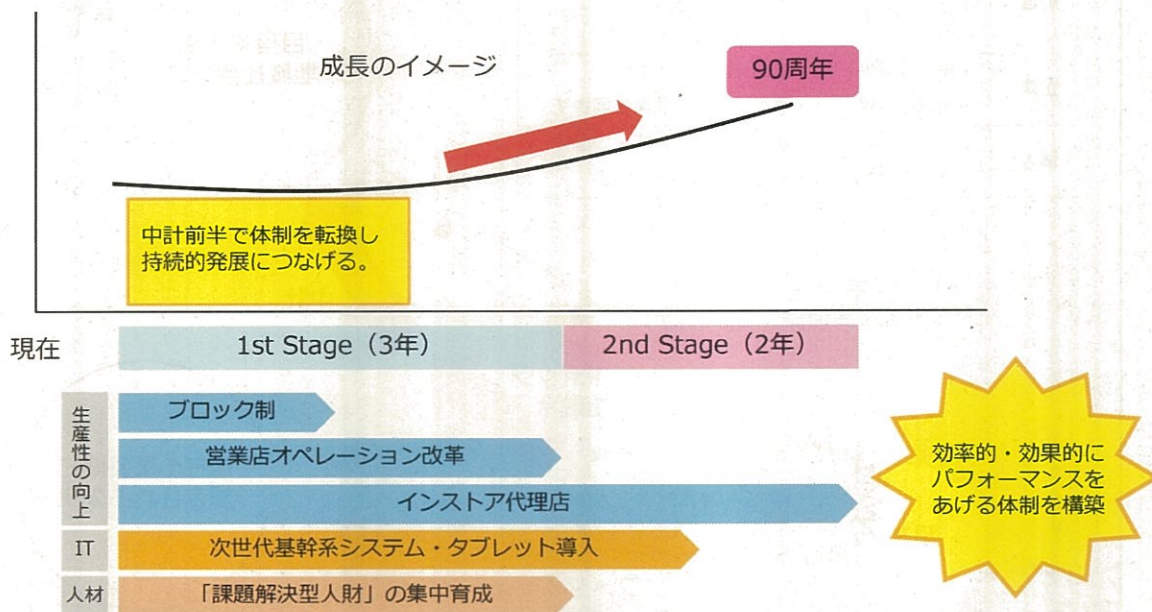


第7次中期経営計画の概要



計画期間についての考え方

- ビジネスモデルを大きく変えるには、人材育成・IT投資等を通じた一段の生産性向上による体制強化が必要であり、計画期間は5年とする。



第7次中期経営計画 挑戦指標

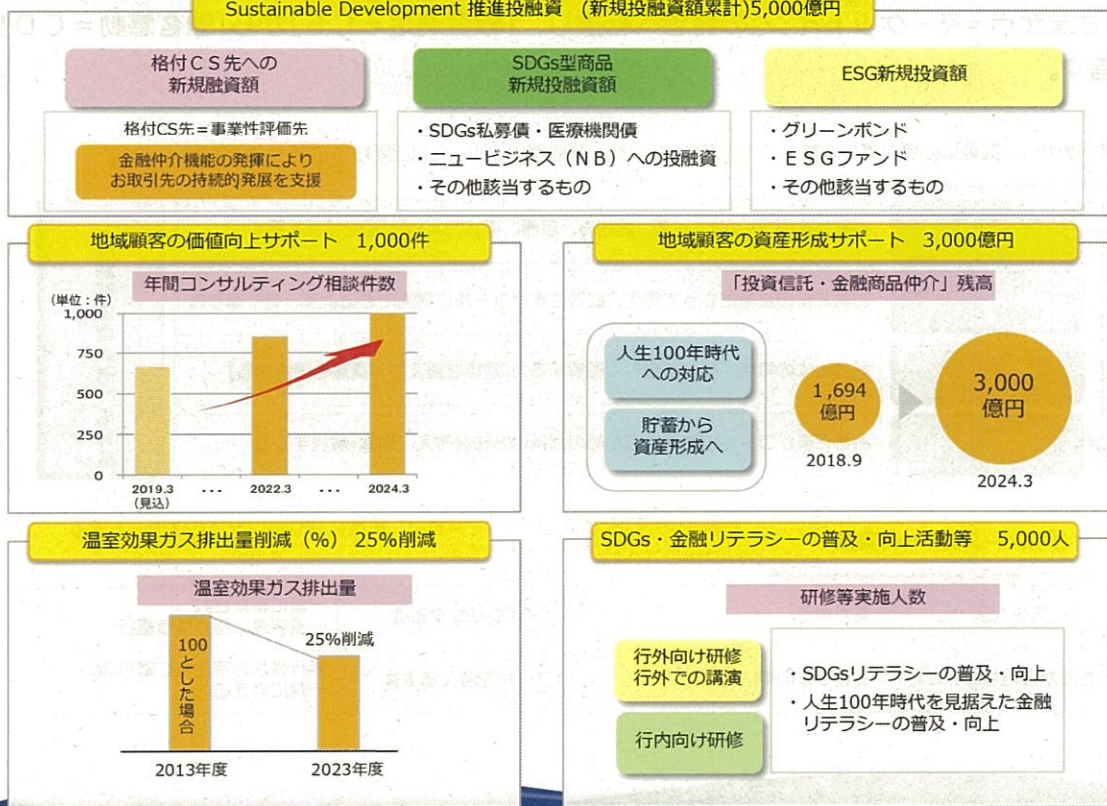
挑戦指標		2022.3 計画	2024.3 計画
SD 目標	Sustainable Development 推進投融资 (新規投融资額累計)5,000億円	(新規投融资額累計)5,000億円	
	地域顧客の価値向上サポート (年間コンサルティング相談件数)	850件	1,000件
	地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」)	2,200億円	3,000億円
	温室効果ガス排出量削減 (%) (2013年度比較の削減率)	25%削減	
	SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動 次世代人材の育成活動	(研修等の実施人数) 5,000人	
収益 目標	親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	最終年度 100億円以上	
	顧客向けサービス業務利益	20億円	30億円

(※) SD (Sustainable Development) 目標…地域の持続的発展につなげる目標

長期的挑戦指標	長期的指標
ROE (連結)	5%以上
OHR	65%未満

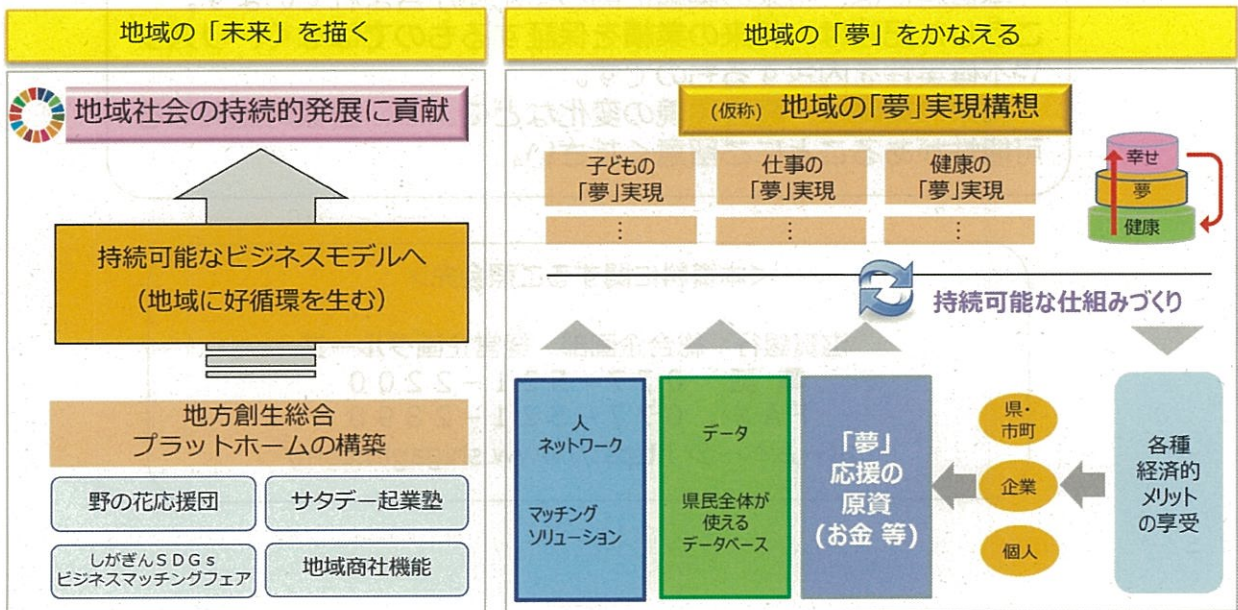
SD (Sustainable Development) 目標

Sustainable Development 推進投資 (新規投資額累計)5,000億円



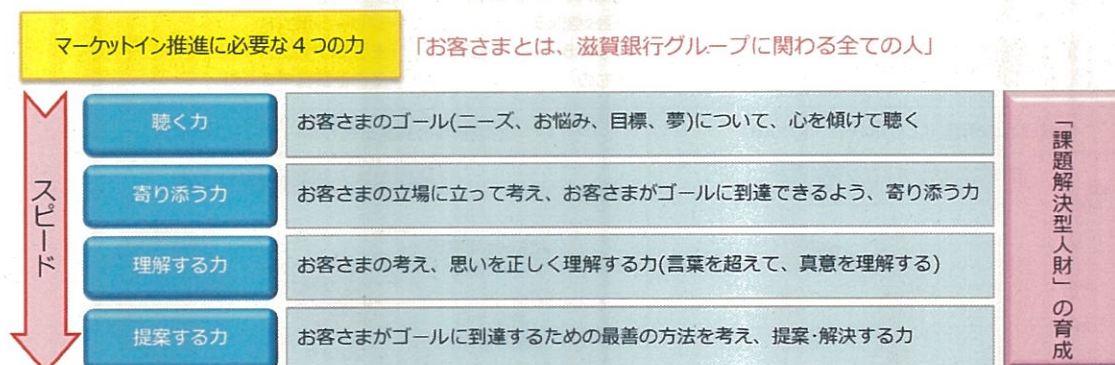
地域の持続的発展に向けて

- 地域に好循環を生む仕組みを構築。地域の「未来」を描き、地域の「夢」をかなえる。



マーケットインの発想への転換

- 「お客さま起点=マーケットイン」の発想へ転換し、「顧客満足=CS」から「顧客感動=CD」を目指す。



ゴールベースサポートの実践 お客さまが目指す夢(ゴール)を共有し、実現に寄り添いながらサポートするゴールベースサポートを実践する。

スタンス	寄り添う	メインバンクとは	一番に相談され一番親身に寄り添う銀行
私たちが実現したいこと	お客さまの夢	ゴールを考える主体	銀行員がお客さまに寄り添い一緒に考える

本資料に関するご照会先

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

<本資料に関するご照会先>

滋賀銀行 総合企画部 経営企画グループ
 電話 077-521-2200
 FAX 077-521-2890
 ホームページ <https://www.shigagin.com/>



2019年2月22日

会社名 株式会社 滋賀銀行
代表者名 取締役頭取 高橋 祥二郎
(コード番号 8366 東証第1部)
問合せ先 総合企画部長 山元 磯和
(TEL. 077-521-2200)

「第7次中期経営計画」の策定について

当行は、今後5年間（2019年4月～2024年3月）を計画期間とする第7次中期経営計画を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定にあたって

我々を取り巻く経営環境を展望しますと、少子高齢化や人口減少の進展に加え、IoTやAIなどの技術革新を背景に、人口構成や社会構造、経済構造の変化が加速的に進むものと思われま。地方銀行の経営は、今まさに歴史的な転換期を迎えており、従来型の発想や過去のビジネスモデルの延長線上に未来はなく、新たなビジネスモデルの構築が求められています。

このような経営環境を踏まえ第7次中期経営計画については、現状から改善策を積み上げる「フォアキャスト」ではなく、目指すべき地域社会の姿から遡って今取り組むべき課題を洗い出す「バックキャスト」の視点で策定しました。

本中期経営計画で目指す姿は「Sustainability Design Company」としました。これには、「お取引先や地域社会の持続可能な発展を企画して創る、従来の枠組み・発想を超える」という強い想いを込めています。

メインテーマは、目指す姿にあわせて「未来を描き、夢をかなえる」としました。また、ビジネスモデルを大きく変えるためには、人材育成やIT投資等を通じた一段の生産性向上による体制強化が必要であり、計画期間は5年としました。

地方銀行の存在意義は、お取引先と地域社会の持続的発展に尽くすことにあります。自らが「課題解決型金融情報サービス業」へ進化し、SDGsをビジネスにつなげ、社会的課題解決により持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。そして、目指すべき地域社会の姿「自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会」を創造していきたいと考えています。

当行グループは全役職員一丸となって「第7次中期経営計画」に全力で取り組み、不変の精神である行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」を原点とし、「CSR憲章(経営理念)」に掲げる「地域社会」「役職員」「地球環境」との共存共栄を目指してまいります。

2. 目指す姿

「Sustainability Design Company」～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

3. メインテーマ

「未来を描き、夢をかなえる」～ お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

4. 計画期間

2019年4月～2024年3月（5年間）

5. 挑戦指標

(1) 第7次中期経営計画期間中の挑戦指標 2024年3月

<SD (Sustainable Development) 目標>

- | | |
|--|---------|
| ① Sustainable Development推進投融资
(格付CS先への新規融資額、SDGs型商品新規投融资額
ESG新規投資額) | 5,000億円 |
| ② 地域顧客の価値向上サポート
(年間コンサルティング相談件数) | 1,000件 |
| ③ 地域顧客の資産形成サポート
(預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」) | 3,000億円 |
| ④ 温室効果ガス排出量削減
(2013年度比較の削減率) | 25%削減 |
| ⑤ SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動、次世代人材の育成活動
(研修等の実施人数) | 5,000人 |

<収益目標>

- | | |
|-----------------------|---------|
| ① 親会社株主に帰属する当期純利益（連結） | 100億円以上 |
| ② 顧客向けサービス業務利益 | 30億円 |

(2) 長期的挑戦指標

(中計期間に関わらず実現に向けて長期的に取り組む指標)

- | | |
|-----------|-------|
| ① ROE（連結） | 5%以上 |
| ② OHR | 65%未満 |

6. 計画の概要

計画の概要につきましては、当行ホームページをご参照ください。

(URL : <https://www.shigagin.com/>)

以上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。

滋賀銀行 総合企画部 経営企画グループ 木澤、山出 (077-521-2200)

広報室

嶋崎、山本 (077-521-2202)